

- 第 7 7 号 -



しろくまだより

— 温暖化で絶滅の危機『しろくま』を救え in やつしろし —

編集/発行 2019.1.23 八代市環境課 TEL33-4114

《今回の記事》

- ・ウォームビズに取り組みましょう
- ・寒い冬はウォームシェア！
- ・猫は正しく飼いましょう
- ・環境情報紙「しろくまだより」について



<http://www.city.yatsushiro.lg.jp/kiji0036726/index.html>
↑↑↑これまでの「しろくまだより」はこちら

ウォームビズ(WARM BIZ)に取り組みましょう

冬是一年で最もエネルギーを使用する季節です。暖房に必要なエネルギー使用量を削減することによって、地球温暖化の原因であるCO₂の発生を抑制することができます。また、電気代を効果的に節約することにつながり、家庭やオフィスにとって経済的なメリットもあります。

ここでは、室温20℃でも暖かく過ごすためのメニューやヒントを紹介します。



○首、手首、足首の「三つの首」をあたためましょう

- ・マフラー、手袋、レッグウォーマー等を活用！
- ・寝るときはタオルなどで首まわりをあたためよう！

○素材に着目し、おしゃれにあたためましょう

- ・機能性素材を活用した衣服を選びましょう！

○ひざ掛けやストールを活用しましょう

- ・ひざ掛けでこまめな体温調節、ストールはひざ掛け代わりに！



○「鍋」で体も室内もあたためましょう

- ・家族や友達と集まって鍋を楽しみながら、体も室内も暖かくして、暖房の設定温度を下げましょう。
- ・根菜類、しょうがなど、体をあたためる食材がおすすめ！さらに、地元の食材を選べば、地域も元気になります。
- ・鍋からの湯気による加湿効果で体感温度がさらに上昇！
- ・一つの部屋に集まって、他の部屋の暖房や照明はオフ！



○湿度を意識し、体感温度を上げましょう

- ・温度計、湿度計を近くに置いて室内環境を「見える化」！

○窓やドアに注目しましょう

- ・断熱シートや厚手のカーテンなどで窓やドアからあたたかい空気が逃げない工夫を！

○「道具」や「小物」で暖房に頼りすぎない工夫をしましょう

- ・湯たんぽ、毛足の長いスリッパやクッションなどを効果的に活用！



寒い冬はウォームシェア(WARM SHARE)！

ウォームシェアとは、ひとりひとりが暖房を使うのではなく、同じ場所や部屋に集まることで、暖房に使用するエネルギーを節約することです。

家庭やご近所でウォームシェア

家族が別々の部屋で暖房を使うと、エネルギーを多く消費してしまいます。ひとつの部屋に集まれば、エネルギーを節約しながら、コミュニケーションも深まります。みんなでひとつの部屋に集まって楽しめば、心も体も暖まります。

“まち”でウォームシェア

家庭の暖房を止めて“まち”に出ることも、エネルギー消費の削減につながります。公共施設等でゆったりと暖かく過ごすことや、スポーツをすること、温泉や飲食店に出かけて楽しむことなどもウォームシェアです。たくさんの方が集まることで、“まち”も元気になります。地域で気軽に集まることができる暖かい場所を探してみてもいいかもしれません。



猫は正しく飼いましょう

●自分の飼い猫以外にエサを与えないようにしましょう

自分の飼い猫以外の猫にエサを与えることは、その猫の飼い主になるということです。

その猫の命や行動のすべてに責任を持ち、飼い主として最期まで飼う事ができますか？

●避妊や去勢をしましょう

猫の妊娠を望まない場合は避妊を、また他の猫を妊娠させてしまわないために去勢をしましょう。

●猫は室内で飼いましょう

室内で飼うことで、猫同士のケンカなどのトラブルになりにくく、ふんや尿、イタズラなどによるご近所への迷惑もなくなります。



環境情報紙「しろくまだより」について

市では、地球温暖化をはじめ環境問題等に関する情報を市民のみなさまにお届けするために、環境情報紙「しろくまだより」を発行し、各世帯に回覧しています。また、市のホームページでは、過去の記事も掲載していますので、ぜひご覧ください。

(<http://www.city.yatsushiro.lg.jp/kiji0036726/index.html>)



携帯端末等で読み取り ↑

サイト内検索



市ホームページ右上のサイト内検索に「しろくま」と入力 ↑

広げよう！環境行動の輪 「人と自然が調和するまち やつしろ」をめざして

八代市では、毎月第1日曜日を「やつしろ環境の日」、毎月25日を「ライトダウンの日」としています。できることから、環境に配慮した暮らしをはじめてみませんか。

●風土を活かしたきれいなまちづくりを進めましょう

- ☐ 地域、行政及び各種団体などが主催する清掃活動や美化活動に積極的に参加しましょう。
- ☐ ペットの散歩時は、フンの処理用具を携帯し、フンは持ち帰りましょう。

●ごみのポイ捨て・不法投棄はやめましょう